

- 管 内 胆振管内
- 分 類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 道路巡回車への試乗を通して、ドライバーの死角や危険箇所等への理解を深める取組
- 高速道路上の事故処理などを担う道路巡回車やパトロールカーを見学し、高速道路上での事故処理の方法、危険箇所について理解を図る取組

■取組の実際

ねらい

- 高速道路の道路巡回車やパトロールカーの見学を通して、児童が道路の危険箇所についての基本的な知識を身に付けるとともに、交通安全についての理解を深める。

内 容

1 道路巡回車への試乗を通して、ドライバーの死角や危険箇所等への理解を深める取組

道路巡回車の試乗体験では、車の周囲にビニールテープとパネルで死角を再現し、危険な間隔やドライバーの視点などを体感することができた。

死角は道路の構造上の死角だけではなく、車に乗る運転者の死角もできるため、停車中の車の側で遊ぶことや近付くことは、危険を伴うということを学んだ。



【車両の死角についての確認】

2 高速道路上の事故処理などを担う道路巡回車やパトロールカーを見学し、高速道路で働く車両や危険箇所について理解を深める取組

本校では、児童の交通安全に対する意識の向上を図るため、道央自動車道室蘭インターチェンジ構内で行われたNEXCO東日本室蘭管理事務所主催の車両見学・試乗会に参加した。

見学・試乗会では、高速道路上の事故処理などを担う道路巡回車や道警本部高速隊のパトロールカーを見学した。道路巡回車は高速道路で起こる様々な事故やトラブルに迅速に対処していること、24時間休むことなくパトロールを続けていることなど、働く車両、危険箇所についての理解を深めた。



【道路巡回車を見学する様子】

成果と課題

- 実際に道路巡回車やパトロールカーを見学・試乗することにより、危険箇所についての理解を深め、安全を確保しながら行動する方法を身に付けることができた。
- 学校全体の取組となるよう、学んだことを他学年に報告したり、他教科につなげたりするなど、活動の継続を工夫する必要がある。